



試験問題例

～第7回オープン検定試験＜平成20年11月30日施行＞より抜粋～

【問1】

ロジックツリーと呼ばれる手法に関する記述として、最も不適切なものを次の中から一つだけ選び、解答用紙の所定欄にその番号をマークしなさい。

- ① 解決すべき課題を体系的に整理するための手法として用いられる。
- ② 解決すべき課題の全体像を把握するのに優れている。
- ③ M E C Eであるかどうかを確認するのに有効である。
- ④ リスクを特定するのに用いられる手法である。

【問2】

職能別組織のメリットに関する次の記述のうち、最も不適切なものを一つだけ選び、解答用紙の所定欄にその番号をマークしなさい。

- ① 各部門に必要な技術や知識が集中するため、専門性を高めることができる。
- ② 部門ごとの職能が限定されるので効率性を高めることができる。
- ③ それぞれの分野において独立して判断を下すことができるため、事業を行う際の、判断スピードが速い。
- ④ クライアントにとっては窓口が一つに集約されるので、素早い対応ができる。

【問3】

リスク管理表に盛り込まれる内容として、最も不適切なものを次の中から一つだけ選び、解答用紙の所定欄にその番号をマークしなさい。

- ① WBS番号
- ② トリガー・ポイント
- ③ 発生時対応策
- ④ 解決予定日時

正解	【問1】④	【問2】③	【問3】④
----	-------	-------	-------